松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・取扱い・工事などのご相談は、**まずお買い求めの販売店・工事店へ**ご依頼下さい。

・ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は、
商品名・品番をご確認の上、下記の「相談窓口」へ

商品・お取扱いなどのご相談は

旭川（0166)23－9462 ㊫ 釧路（0154)31－2992 ㊫	函館（0138)49－4036 ㊫

札幌お客様ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒060－0809）　札幌市北区北9条西2丁目1番地
電話（011)727－5033　FAX（011）727-1175

青森（017)738－2461 ㊫ 秋田（018)864－5141 ㊫ 盛岡（019)643－7291 ㊫ 山形（023)625－4846 ㊫ 仙台（022)268－5856 ㊫ 郡山（024)942－2371 ㊫ 新潟（025)269－6615 ㊫	宇都宮（028)634－0404 ㊫ 高崎（027)363－7967 ㊫ 水戸（029)241－9595 ㊫ 甲府（055)235－4175 ㊫ 大宮（048)668－1831 ㊫ 千葉（043)227－3626 ㊫ 横浜（045)491－7311 ㊫

東日本お客様ご相談センター（受付時間：9時15分～17時15分）
（〒108－8402）　東京都港区芝4丁目8番2号
電話（03)3769－4820　FAX（03）3769-4984

名古屋（052)581－7208 ㊫ 静岡（054)261－0585 ㊫ 三重（059)227－5310 ㊫ 岐阜（058)272－4653 ㊫ 長野（026)228－3824 ㊫ 富山（076)431－5539 ㊫ 福井（0776)54－8425 ㊫ 金沢（076)245－5390 ㊫ 京都（075)661－5146 ㊫ 滋賀（077)564－9366 ㊫ 和歌山（073)474－5681 ㊫ 神戸（078)731－1195 ㊫	高松（087)843－3571 ㊫ 松山（089)947－2886 ㊫ 高知（088)831－7656 ㊫ 広島（082)247－9438 ㊫ 米子（0859)22－9244 ㊫ 岡山（086)241－3184 ㊫ 山口（083)972－8515 ㊫ 福岡（092)531－5605 ㊫ 北九州（093)931－8978 ㊫ 大分（097)558－6784 ㊫ 長崎（095)843－3995 ㊫ 熊本（096)359－5018 ㊫ 宮崎（0985)26－6189 ㊫ 鹿児島（099)251－3217 ㊫ 沖縄（098)876－8274

西日本お客様ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒540－0001）　大阪市中央区城見2丁目1番3号
電話（06)6946－2437　FAX（06）6941-4057

（注）所在地、電話番号が変更になることがありますので、予めご了承下さい。
㊫印の電話はご相談センターへ自動転送しておりますので、つながるまでに多少の時間がかかります。又、転送メッセージが流れても、転送先が話中の場合は、つながりませんので、お手数ですがお掛け直し下さい。
転送先までの電話料金は弊社負担です。

修理・サービスのご相談は

旭川（0166)26－5505 ㊫ 釧路（0154)25－1015 ㊫	函館（0138)49－1822 ㊫

札幌修理ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒060－0807）　札幌市北区北7条西5丁目5番地3 札幌千代田ビル2階
北海道松下電工テクノサービス(株)
電話（011)707－7210

青森（017)728－8550 ㊫ 秋田（018)823－0229 ㊫ 盛岡（019)637－1556 ㊫ 山形（023)633－7260 ㊫ 仙台（022)371－2547 ㊫ 郡山（024)939－0970 ㊫ 新潟（025)260－5971 ㊫	宇都宮（028)636－7004 ㊫ 高崎（027)361－1821 ㊫ 水戸（029)241－8997 ㊫ 甲府（055)235－3160 ㊫ 大宮（048)664－6901 ㊫ 千葉（043)224－5309 ㊫ 横浜（045)713－1089 ㊫

東京修理ご相談センター（受付時間：9時15分～17時15分）
（〒174－0041）　東京都板橋区舟渡1丁目12番11号 ヘリオスⅡ・2F
東部松下電工テクノサービス(株)
電話（03)5392－7190

静岡（054)262－2654 ㊫ 三重（059)222－9233 ㊫ 岐阜（058)277－3303 ㊫ 長野（026)223－6889 ㊫	富山（076)433－4900 ㊫ 福井（0776)54－3829 ㊫ 金沢（076)237－2143 ㊫

名古屋修理ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒450－8611）　名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館8F
中部松下電工テクノサービス(株)
電話（052)551－7900

京都（075)682－6020 ㊫ 滋賀（077)564－9246 ㊫ 和歌山（073)473－0556 ㊫ 神戸（078)737－1100 ㊫	高松（087)843－5890 ㊫ 松山（089)941－9860 ㊫ 高知（088)834－0515 ㊫

大阪修理ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒575－0041）　大阪府四条畷市蔀屋新町3番41号
近畿松下電工テクノサービス(株)
電話（072)878－8999

広島（082)296－6649 ㊫ 米子（0859)22－9127 ㊫ 岡山（086)245－6937 ㊫ 山口（083)973－8559 ㊫ 北九州（093)931－6567 ㊫ 大分（097)553－4510 ㊫	長崎（095)843－9131 ㊫ 熊本（096)326－3187 ㊫ 宮崎（0985)23－1134 ㊫ 鹿児島（099)253－8881 ㊫ 沖縄（098)876－8274

福岡修理ご相談センター（受付時間：9時～17時）
（〒812-0041）　福岡市博多区吉塚5丁目5番32号
西部松下電工テクノサービス(株)
電話（092)622－0531

（平成12年12月現在）

お客様へ おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。	ご購入年月日	年　　月　　日
	ご購入店名	TEL.

松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部　〒522-8520　滋賀県彦根市岡町33番地　TEL.(0749)26-7890

©Matsushita Electric Works. Ltd. 2001　本書に収録したものはすべて当社に著作権の存するものですから、無断の複製はかたくお断りします。

K-N0.1

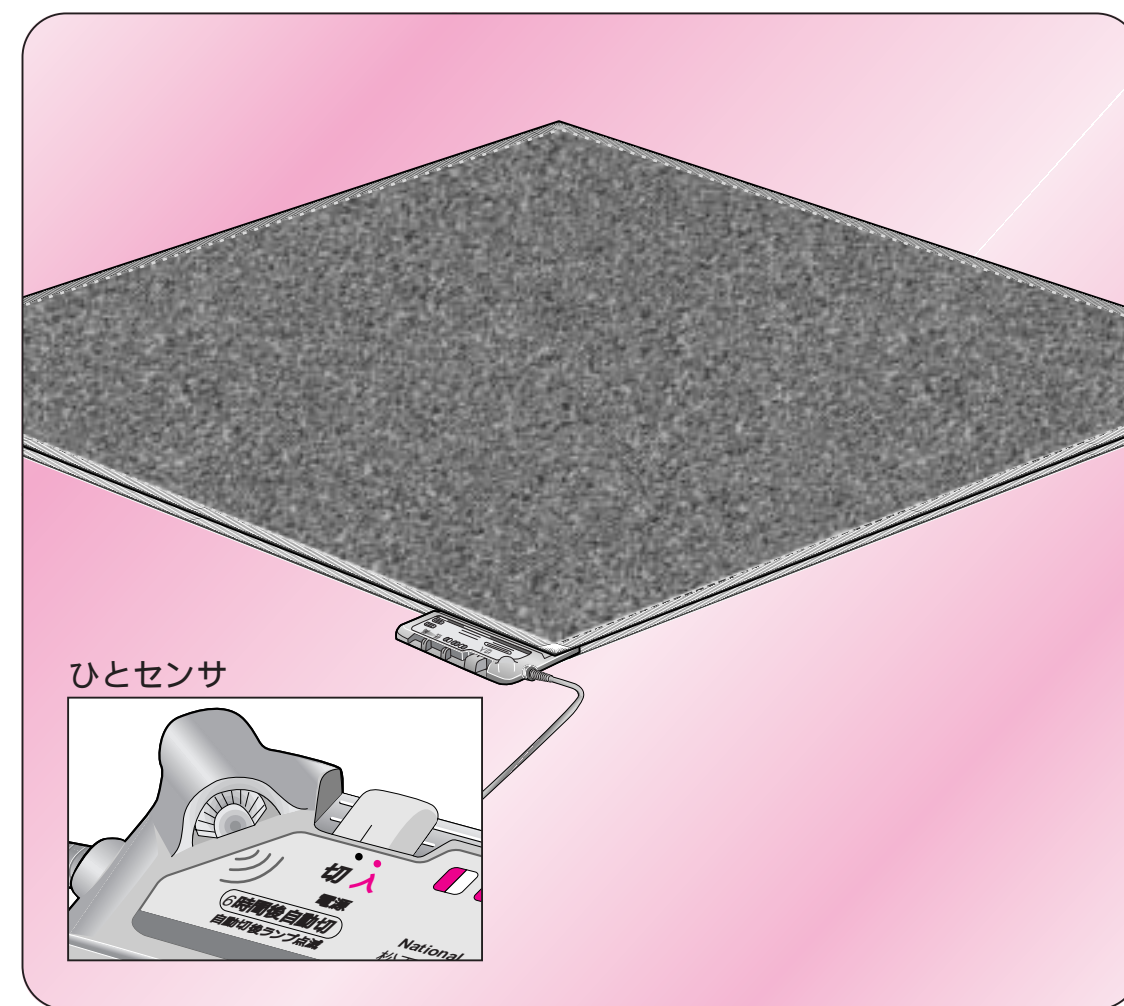
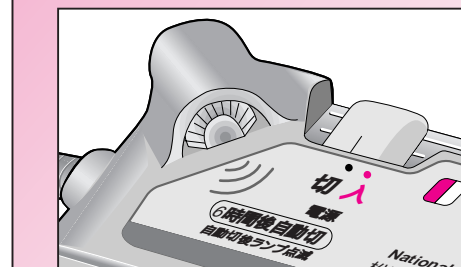
National
松下電工

保証書別添
保　管　用

ナショナル ホットカーペ

キトサン ゆかピタ

品番

取扱説明書

このたびは、ナショナルホットカーペをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、その後いつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

もくじ

DRCT1D-473

◆ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠注意	人が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定される内容

●絵表示の例

分解禁止

⃠記号は、禁止の行為を示しています。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源プラグを抜く

❗記号は、行為を強制したり指示したりするものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグからコンセントを抜いてください）が描かれています。

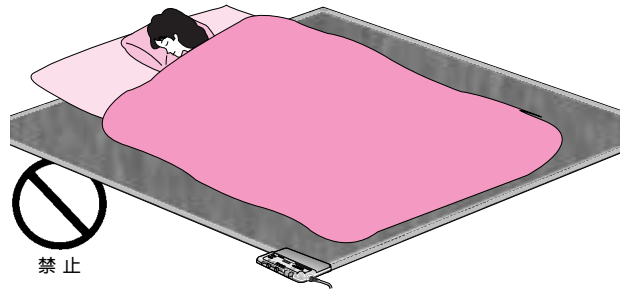
⚠危険

低温やけどや脱水症状をおこすおそれがあります。

次のような方がお使いのときは、特に注意してください。

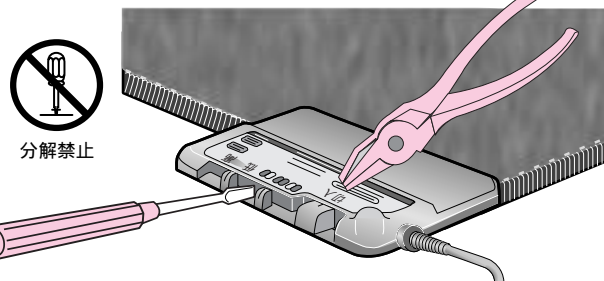
- 乳幼児・お子様・お年寄り
- 自分で温度調節のできない方
- 皮ふ感覚の弱い方・皮ふの弱い方
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

必ず守る

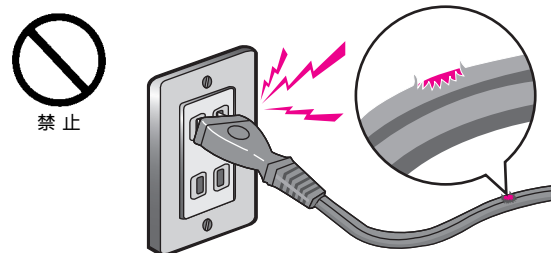
カバーを外して使用しない。
就寝用暖房器具として使用しない。

禁止

低温やけどについて……一般にやけどといえば、火・熱湯・油などの高温のものが皮ふにふれておこるものですが、比較的低い温度（40～60℃）のものでも長時間皮ふの同じ箇所にふれていると（状態や個人差によっても異なりますが）低温やけどをおこす場合があります。一般のやけどは皮ふの表層のみですが、低温やけどは皮ふの深部におよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。

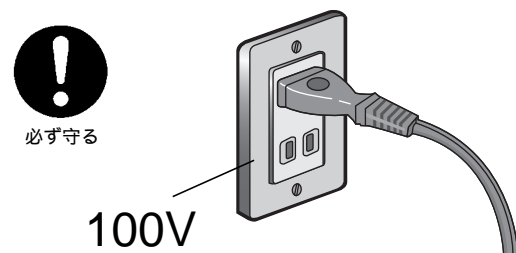
⚠警告

自分で分解、修理しない。

分解禁止

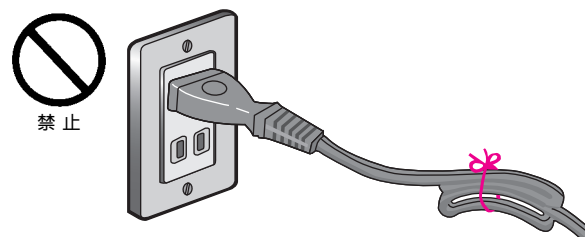
発火したり、異常動作して感電・けが、火災の原因となります。

電源コード、プラグがいたんだり、コンセントにプラグを差し込んだとき、ガタ・ユルミのあるときは使用しない。

禁止

感電・火災の原因となります。

必ず交流100Vで使用する。

必ず守る

100V以外で使用すると、感電・火災の原因となります。

電源コードを束ねて通電したり、加工したり無理な力を加えたりしない。

禁止

電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

⚠注意

必ず守る

●電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
上記2項を守らないと、感電・ショート・過熱・発火の原因となります。

電源プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
抜かないと、絶縁劣化による感電や火災の原因となります。

禁止

●高周波を利用した機器（超短波治療器・工業用ミシン）などは、温度コントローラの近くで使用しない。
ホットカーペの故障の原因になります。

●温度コントローラ部に水やお茶などをこぼしたり、強い衝撃をあたえない。
（万一こぼしたり、衝撃をあたえた時は直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。）
感電・火災や故障の原因となります。

●凹凸・段差のある場所で使用しない。
ヒーターユニットが破損し、感電・火災の原因となります。

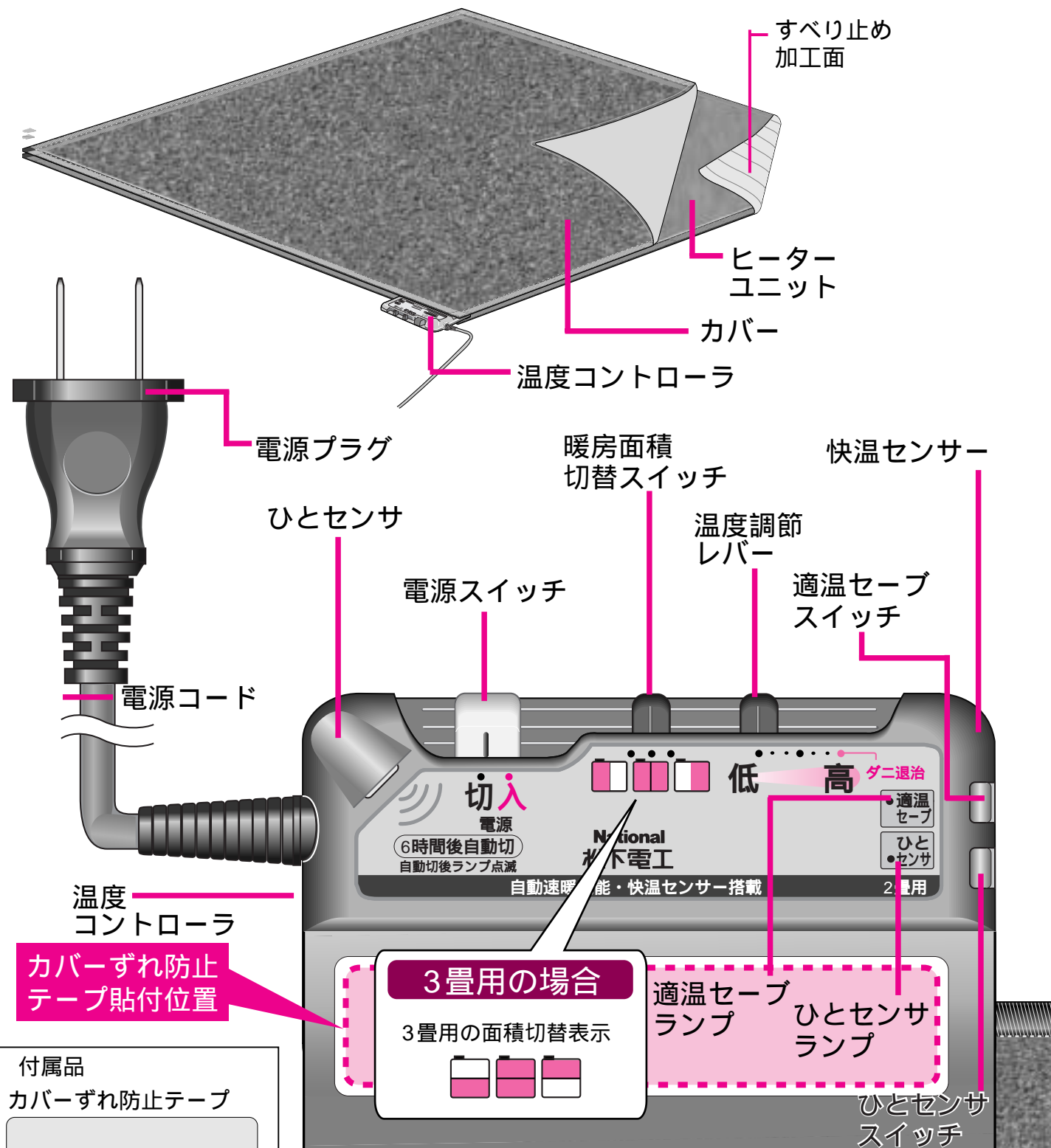
●スプレー缶、ライター等を近くに置かない。
加熱して爆発や火災の原因となります。

●犬や猫などペットの暖房には使用しない。
ペットが本体やコードを傷め、火災の原因となります。

●アイロン台として使用したり、加熱物を置かない。
熱で本体を傷め発火の原因となります。

●針やピンなどでさしたり、刃物で傷つけない。
ショートして感電や故障の原因となります。

●座布団など保温性のよいものを長時間同じ場所にのせない。
のせたものや床材が熱で変色することがあります。

◆ 各部のなまえ

〈付属品〉
カバーずれ防止テープ

カバーが温度コントローラ部に乗り上がると、ひとセンサが人の動きを検知できなくなりますので、カバーずれ防止テープを必ず貼り付けてください。

● 「ゆかピタ」とは……ヒーターユニットの裏面に、木床やたたみの上でヒーターユニットがすべりにくくなる加工をしています。

● 「キトサン」とは……カニやエビの甲羅から抽出される天然成分。抗菌防臭効果が認められ、医療面から食品まで幅広く活用されています。

◆ ご使用前に……

■梱包箱は捨てずにシーズンオフの収納に使います。

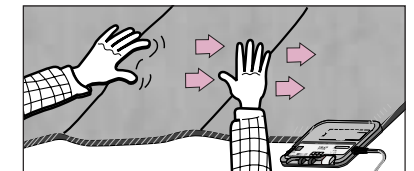
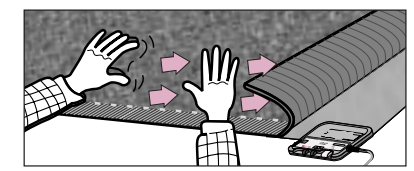
■ホットカーペを敷くときは……

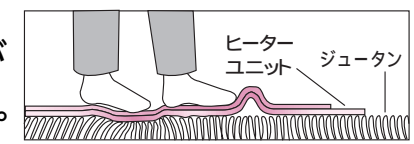
●ヒーターユニットは、乾燥している床に敷いてご使用ください。

(床材がクッションフロアの場合や床面をワックスがけ・ふき掃除をした時は、ヒーターユニット裏面と床材がくっつくことがありますので床面を乾いた布でふきとり、お使いください。)

●ヒーターユニットは、壁や物にあてずに敷いてください。

(壁や物に当てて、ヒーターユニットが変形した状態でご使用すると、ヒーターユニットが傷む原因になります。)

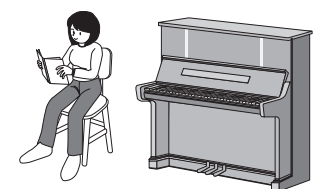
●ヒーターユニットは平らな床に広げて折りジワをよくのばしてください。

●ヒーターユニットの表面には、カバーがピタッと貼りつくカバーピタ機能がありますので、カバーの折りジワをのばしながら、ヒーターユニットとカバーが全面ぴったり貼りつくようにのばしてお使いください。

※シワが残っている状態でご使用になると、ヒーターユニットが傷む原因になります。

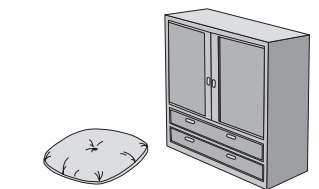
●ジュータンの上でご使用になるとヒーターユニットがずれてシワになり、傷む原因になるのでご注意下さい。

■カバーについて

●使い始めた時に多少布地の臭気がしますが、数日ご使用いただくと臭気がなくなります。

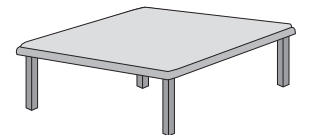
●使い始めた時に多少あそび毛が出ることがありますが、掃除機をかけるとまもなく出なくなります。

■ホットカーペの上にのせては……

いけないもの

イス・ピアノ等

重さでヒーターが破損する原因となります。

座布団・タンス等底面の広いもの

断熱し、ホットカーペの温度が上がりにくくなります。

よいもの

座卓・コタツ等

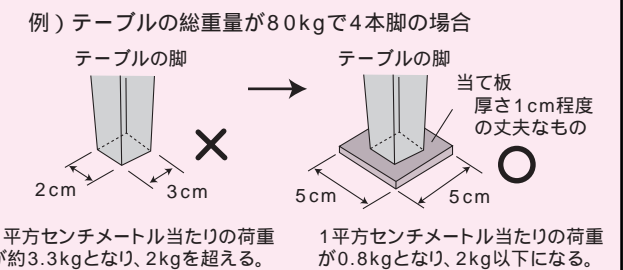
※ひとセンサをコタツの脚等でささえぎると検知しにくくなります。

●重くて脚の先端の細いテーブルなどでは、ヒーターユニットを破損する恐れがありますので、1平方センチメートル当たりの荷重を2kg以下になるように脚部に当て板をしてご使用ください。

※当て板が5cm角であれば4本脚のテーブルでは、総重量200kgまでたえられます。

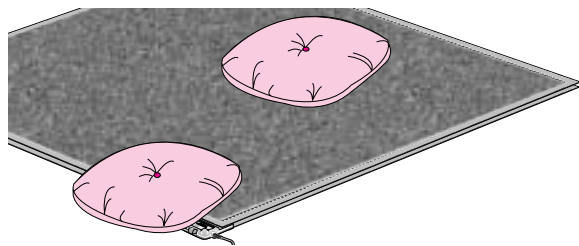
例）テーブルの総重量が80kgで4本脚の場合

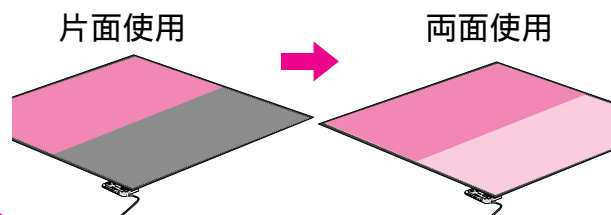
1平方センチメートル当たりの荷重が約3.3kgとなり、2kgを超える。

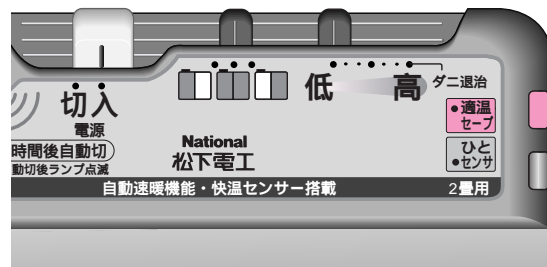
1平方センチメートル当たりの荷重が0.8kgとなり、2kg以下になる。

◆ ホットカーペの特性・取り扱い上の注意

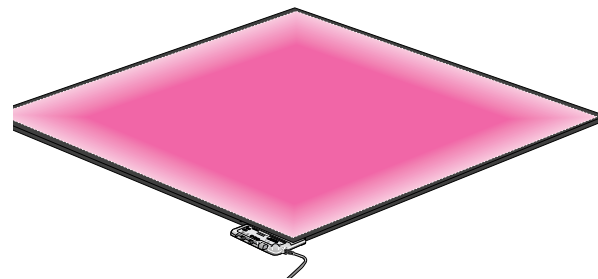
■ホットカーペは以下のような条件でご使用の場合、ぬるく感じる事があります。

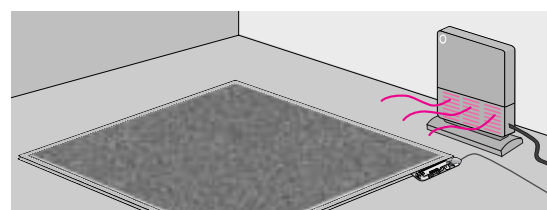
●ホットカーペやコントローラ部の上に座布団などを置くと温度が上がりにくくなります。

座布団を置いてある場所の温度が他の場所より上がるため､コントローラ内の保護機能が働いてホットカーペ表面全体の温度を抑えるためです。

●片面で使用していた後、両面に切り替えたとき、使用していなかった面は温度が上がりにくくなります。

はじめに使用していた片面の温度を保つようにコントローラが通常よりも電力セーブして動作するため、使用していなかった面の表面全体の温度が上がるのに通常より時間がかかるためです。

●適温セーブモードで使用したときは通常使用よりも温度が低くなります。

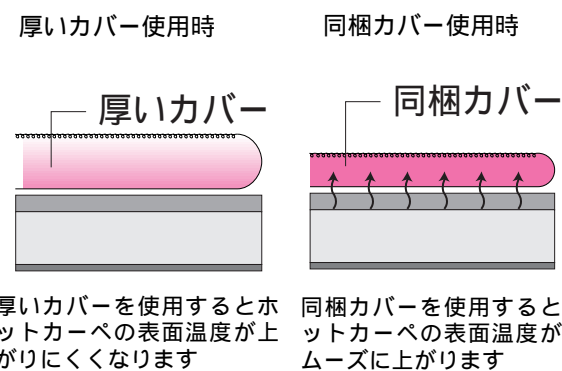
適温セーブモードがエアコン、ファンヒーターなどの他の暖房器具とホットカーペを併用した場合、室温が高くなるとホットカーペの表面温度を自動的に下げるためです。

●ホットカーペの周辺部は中央部より温度が低くなります。

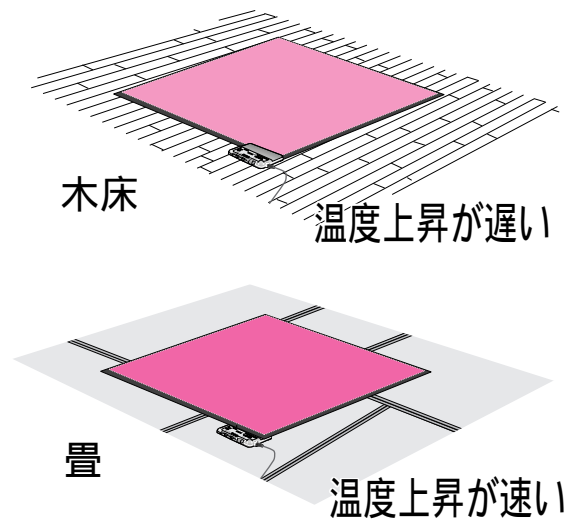
構造上、周辺部にはヒーターが配置されていないためです。

●エアコン、ファンヒーターなどの他の暖房器具の温風が直接ホットカーペに当たる場合、ホットカーペの温度が上がりにくくなります。

他の暖房器具の温風がホットカーペに当たる場所の温度を他の場所より上げるため、本体の保護機能が働いてホットカーペ表面温度を自動的に下げるためです。

●同梱カバー以外の厚いカバーをかけると温度が上がりにくくなります。

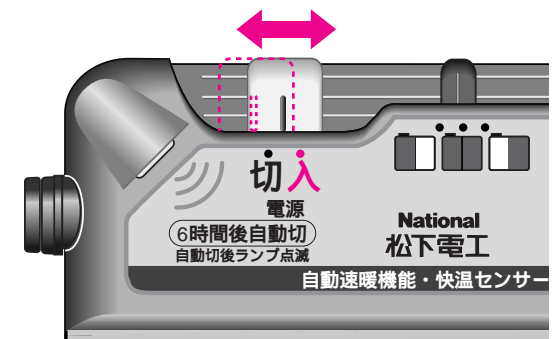
●厚いカバー使用時　●同梱カバー使用時

厚いカバーを使用するとホットカーペの表面温度が上がりにくくなります

同梱カバーを使用するとホットカーペの表面温度がスムーズに上がります

●部屋が木床と畳では温度の上がり方がちがいます。

一般に、畳のほうが温度の上がる速度が速くなります。

●ホットカーペは電源スイッチを入れてから約6時間で自動的にスイッチが切れるように設定されています。

(スイッチが切れると電子音が「ピピピピピィー」と鳴り、電源スイッチが点滅します)

電源スイッチを一度｢切｣に戻してから再度｢入｣にすれば、元通り通電します。

■取り扱い上の注意

●新しい畳の上でホットカーペをご使用になると、ホットカーペの下の畳が変色することがあります。

●熱に弱い木質床の上で長時間使用すると、床にひびが入ったり変形・変色することがあります。

●熱に弱いクッションフロアやジュータンの上で長時間使用すると、ジュータンやクッションフロアが傷んだり変色することがあります。

●湿気を多く含む木質床（コンクリートの上に直貼りした木質床）等の上でホットカーペをご使用になるとホットカーペの下の木質床が変色することがあります。

上記の様な床でご使用の場合は、ときどきホットカーペをめくって床をチェックしてください。

※熱による床の傷みを緩和することができて、すべり止めの効果もあるフローリング用ゆかピタマットをおすすめします。
品番　DR076（2畳用）・DR077（3畳用）

●コンクリート床等の熱が下に逃げやすい床では、ぬるく感じます。

⚠注意

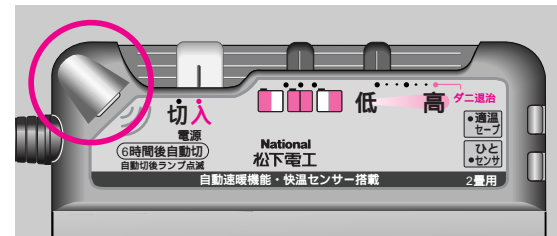
必ず守る

延長コードをご使用の場合はカーペットの最大消費電力以上の容量を持つ延長コード(テーブルタップ)をご使用ください。

容量に余裕がないと、発熱・発火のおそれがあります。

◆ ひとセンサについて

■ひとセンサとは……

この商品には、カーペット上に人がいるか、いないかをセンサーが検知してカーペット上に人がいない時の無駄な電気をセーブする機能がついてます。

注 意 ひとセンサは、人の動きなどの温度変化を検知するため、人以外の動物（ネコ等）が移動した時も検知してしまうことがあります。

■ひとセンサモードを上手に使うには…

- ●スイッチの切り忘れが予想される場合
- ●人の出入りが頻繁にあり、いちいちスイッチを切るのがめんどうに感じられる場合

以上のような場合に使っていただくと「ひとセンサ」の特長である「節電」・「便利」機能が活用していただけます。

■ひとセンサの検知範囲について

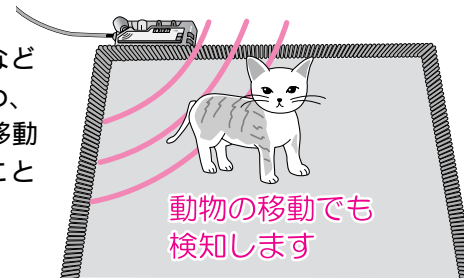
●ひとセンサはおおよそ下図の範囲で検知します。

上からみた図

検知エリア内であればカーペットの外にいても人の動きがある場合検知します。

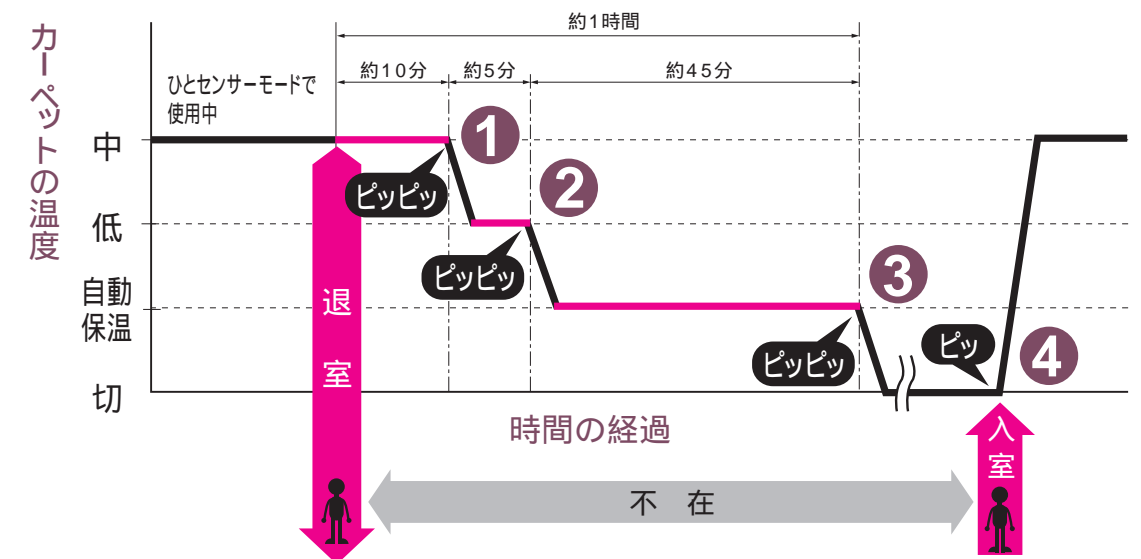
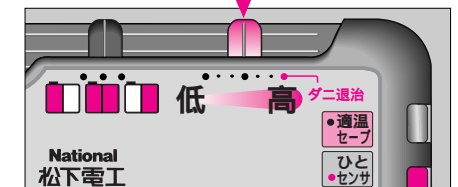
横からみた図

注 意

上図の範囲以外であっても、ひとセンサと対向する位置を人が歩行すると誤検知してしまいカーペット上に人がいなくても『人がいる』と判断してしまう可能性があります。

■ひとセンサのはたらきのしくみ

ひとセンサモードでお使いになると、自動的に温度を調整しカーペット上に人がいない時、無駄な電力の消費を抑えます。

設定温度が〈中〉の場合

カーペット温度約40℃（室温約20℃のとき）

❶ 人の動きが約10分間ない場合、ひとセンサが『人の不在』と判断して電子音が「ピッピッ」と鳴り、温度を『低』に下げます。

補 足 元々の温度設定が『高』の場合、『中』に温度を下げます。

❷ 更に人の動きが約５分間ない場合、再度電子音が「ピッピッ」と鳴り温度は『自動保温』の状態まで下げます。

補 足 元々の温度設定が『高』の場合でも、『自動保温』まで温度を下げます。

❸ 更に人の動きが約45分間ない場合は（人が退室してから約１時間）電子音が「ピッピッ」と鳴ってカーペットの電源スイッチが暗くなり電源を一時的に切ります。

❹ ひとセンサ『人の存在（動き）』を検知すると、電子音が「ピッ」と鳴って電源スイッチが明るくなり、元の設定温度に復帰します。

補 足 ■『人の不在』と判断して『低』や『自動保温』モードで動作しているときでも『人の存在（動き）』を検知すれば電子音が「ピッ」と鳴って、元の設定温度に復帰します。
■電源スイッチを入れて約6時間以上経過している場合は、自動的に電源スイッチが切れていますので、入室しても暖房運転は開始しません（P6参照）。

◆ ひとセンサについて

■ひとセンサは次のような性質を持っています。

性　　質	対　　応

ひとセンサはカーペット上での人の動きが非常に少ない場合、人が居るにもかかわらず、『不在』と判断してしまうことがあります。ひとセンサから遠いカーペットの周端部において、この現象が顕著に現れる傾向があります。

●ひとセンサが『不在』と判断した場合、「ピッピッ」っと電子音が鳴りますのでカーペットで採暖中の場合は、手を大きめに動かしてください。
（ひとセンサが検知できた場合は、「ピッ」っと電子音が鳴ります。）

●頻繁にひとセンサが『不在』と判断して「ピッピッ」と電子音が鳴る場合は、ひとセンサスイッチをOFFにしてご使用ください。

ひとセンサ部をカバーやクッション等でおおったり、ひとセンサと人体との間に小物、クッション、やぐらこたつ等の障害物があり、ひとセンサから見て人体が障害物に隠れる場合は、ひとセンサが検知できずに『不在』と判断してしまうことがあります。

●ひとセンサ部をおおっている障害物やひとセンサと人体との間にある障害物を取り除いてください。

●どうしても取り除けない障害物（ソファ・やぐらこたつ等）があり、頻繁にセンサが『不在』と判断して「ピッピッ」と電子音が鳴る場合は、ひとセンサスイッチをOFFにしてご使用ください。

ひとセンサのレンズは、柔らかい材料（ポリエチレン）でできています。レンズに荷重や衝撃が加わると変形や損傷により動作不良性能低下を招きます。

●ひとセンサのレンズには、荷重や衝撃を加えないようにしてください。

性　　質	対　　応

ひとセンサに太陽光が直接射し込む場合や、ひとセンサに対向して石油ストーブ・ファンヒーター（燃焼確認用のぞき穴）等の燃焼炎が見えるものが設置されている場合は、ひとセンサが誤検知してカーペット上に人がいなくても『人がいる』と判断してしまうことがあります。

ストーブの炎や太陽で誤検知する場合があります

●太陽光が単に射し込んでいる状態では誤検知はおこりませんが、日差しが射したり、陰ったり変動する場合に発生することがありますので太陽光を遮ってください。
●石油ストーブやファンヒーターは燃焼炎がひとセンサから直接見えないように移動してください。

ひとセンサのレンズに汚れが付着すると検知感度が低下します。

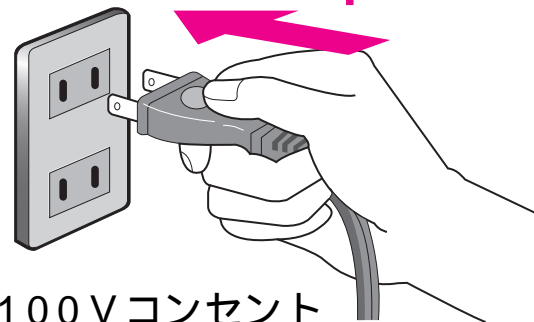
●レンズに付着した汚れは、ティッシュペーパーや乾いた綿棒で取り除いてください。

◆ コントローラの操作のしかたと機能

■暖房を入れるには……

1 電源プラグをしっかりと差し込む

AC100Vコンセント

⚠ 注意

必ず守る

奥まで確実に差し込んでください。
ゆるんでいると加熱・発火のおそれがあります。

2 電源「入」
電源スイッチが点灯します。

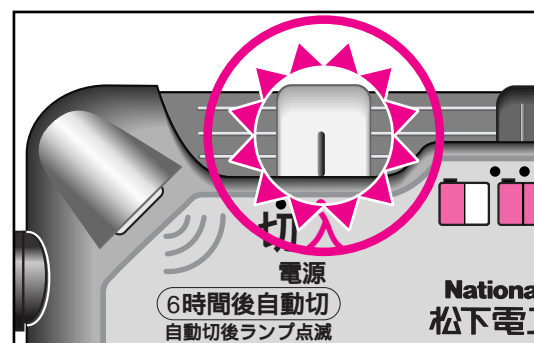
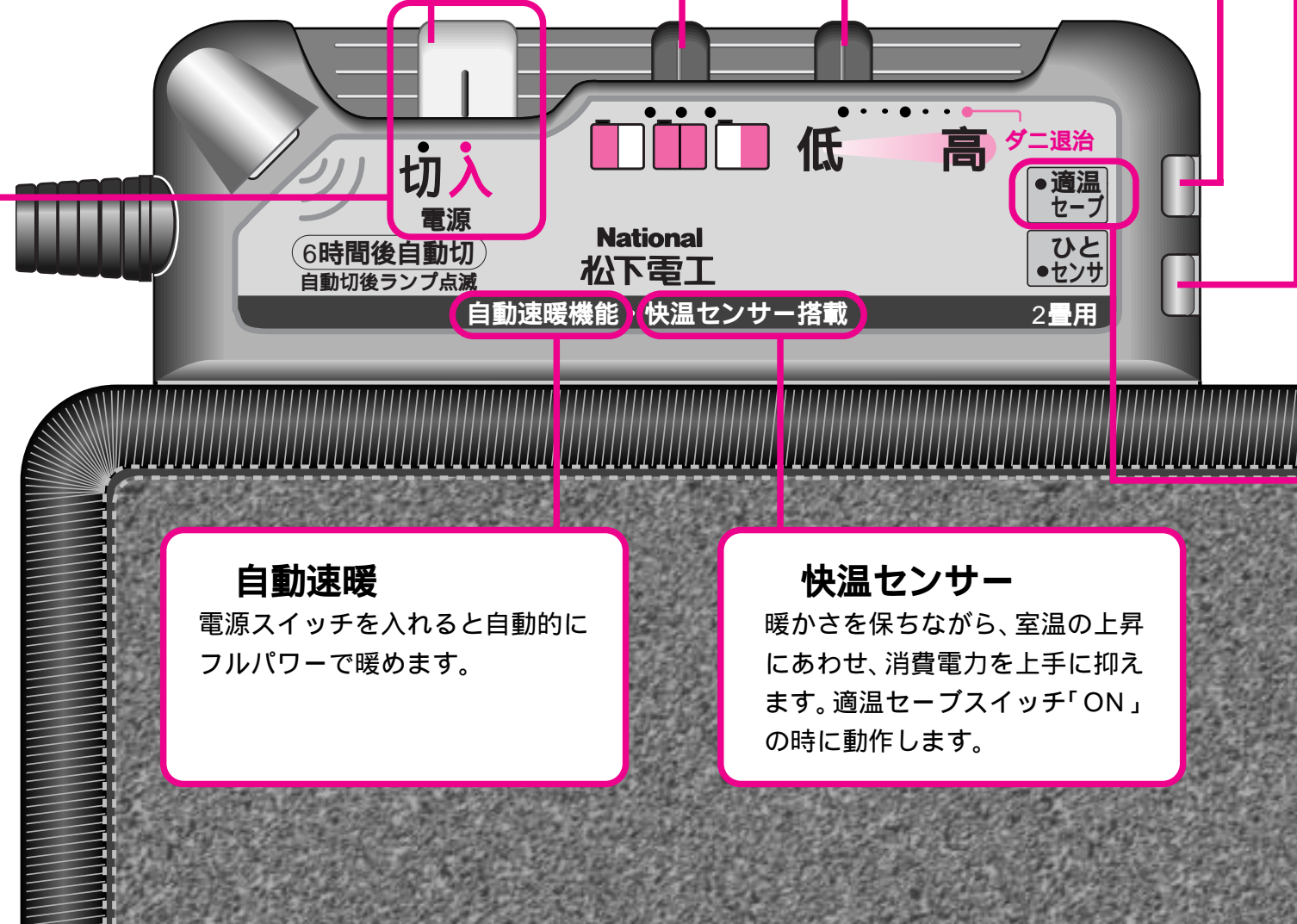
3 暖房面を選ぶ
※図は２畳用のコントローラ部で説明しています。

4 好みの温度に合わせる

5 人を検知して節電したいとき ひとセンサ「ON」
ひとセンサランプが点灯します。

6 適温セーブを使いたいとき スイッチ「ON」
適温セーブランプが点灯します。

■自動切タイマー

電源スイッチを入れると、自動的に「切タイマー機能」がはたらき、約6時間後に電源が切れます。
(電子音が「ピピピピピィー」と鳴って、電源スイッチが点滅に変わります)
電源スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にすれば、もとどおり通電します。

●自動速暖

電源スイッチを入れると自動的にフルパワーで暖めます。

●快温センサー

暖かさを保ちながら、室温の上昇にあわせ、消費電力を上手に抑えます。適温セーブスイッチ「ON」の時に動作します。

■適温セーブモード

室温がポカポカと暖かい時、快温センサーがはたらき（部屋の温度をキャッチして）、無駄な暖めすぎを防止し最適な温度に調整します。

●こんな場合におすすめ
- 他の暖房器と併用時。（エアコン、ファンヒーター等）
- 部屋に日が差して暖かい時。

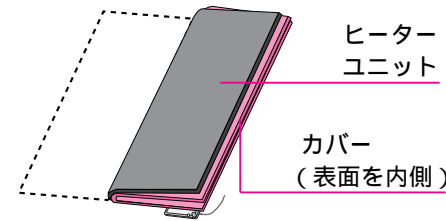
■適温セーブモードは…

- ●通常使用よりも温度が低くなります。
- ●低いと感じられる時は、適温セーブスイッチを切ってご使用ください。

●ホットカーペが暖かく感じないときは（P５、６参照）、温度調節レバーを高めに合わせてください。

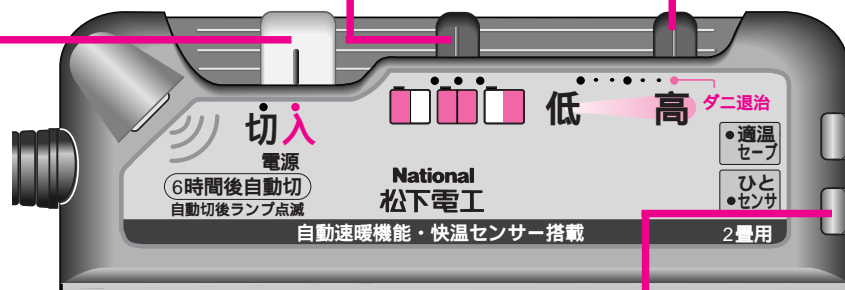
◆ ダニ退治のしかた 目安：シーズン始めと終り

木質床では充分に昇温せず、ダニが死なないことがありますので、ダニ退治は畳床またはカーペット床で退治してください。（ダニ退治のしかたは2畳用のホットカーペで説明しています。）

1 カバー表面を内側にして2つ折り、ヒーターユニットでカバーをはさみ込む。
（カバー表面を充分に昇温させ、ダニ退治をおこなうため）

2 電源「入」

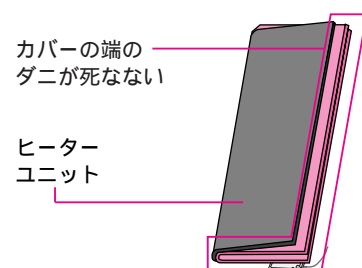
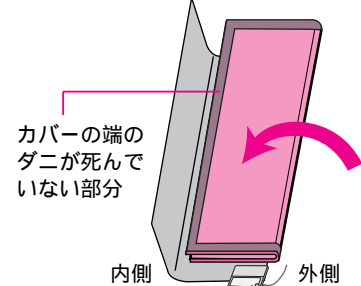
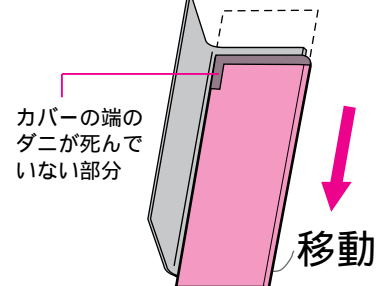
4 暖房面積を全面に

5 温度調節レバーをダニ退治（「高」）の位置にセット

6 約2時間後に電源を「切」に
カバーを広げて紙パックフィルター式の電気掃除機でダニの死がいを吸いとります。

3 ひとセンサを「切」に
ひとセンサランプが消灯していることを確認してください。

■知っておいていただきたいこと

上記のダニ退治方法ではカバーの端にいるダニが死なない場合もありますので、念入りにダニ退治したい方は下記の方法を参考にしてください。

1 まず上記のやり方でダニ退治
カバーの端のダニが死なない
ヒーターユニット

2 カバーの端をヒーターユニットの内側に移動させもう一度ダニ退治
カバーの端のダニが死んでいない部分
内側 外側

3 カバーを上下に移動させさらにダニ退治
カバーの端のダニが死んでいない部分
移動

◆ 収納のしかた

1 ヒーターユニット本体やカバーに付着したゴミや食べ物カス等を掃除機でていねいに取り除く。
（ダニ退治を行ったあとに掃除機をかけてください。カバーは洗濯してください。）

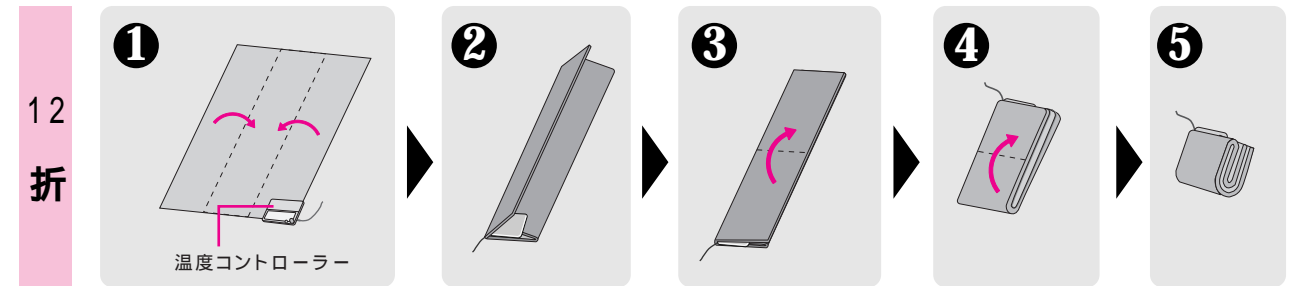
2 折りたたんで箱に入れる。
（ヒーターユニット・カバーはよく乾かしてください。ヒーターユニットにシワができないようにご注意ください。）

■折りたたみ方法

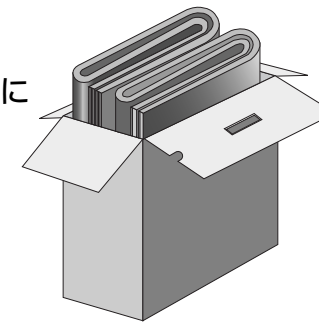
ご注意 ●下図の順序で折りたたみ、ポリ袋に入れた後、梱包箱に入れてください。
●ナフタリン、樟脳などは使用しない。（温度コントローラの電子部品をいためる原因となります）

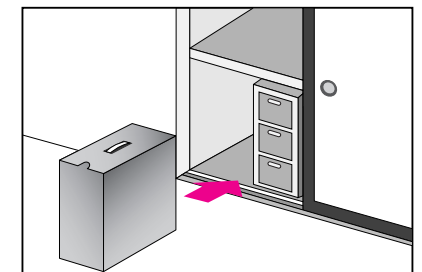
折りたたみ順序 ※表と裏のどちらの方向にも折りたためます。

●ヒーターユニット（2畳・3畳いずれも同じです）

12折

●カバー
ヒーターユニットと同じように折りたたむ。

■梱包箱への収納

電源プラグは、裏面のゆかピタ加工面に触れないよう、注意して収納。
（裏面を傷つけるおそれあり。）

カバーとセットで梱包

3 湿気の少ない場所に保管。

◆ お手入れのしかた

■日常のお手入れ

⚠警告

必ず守る

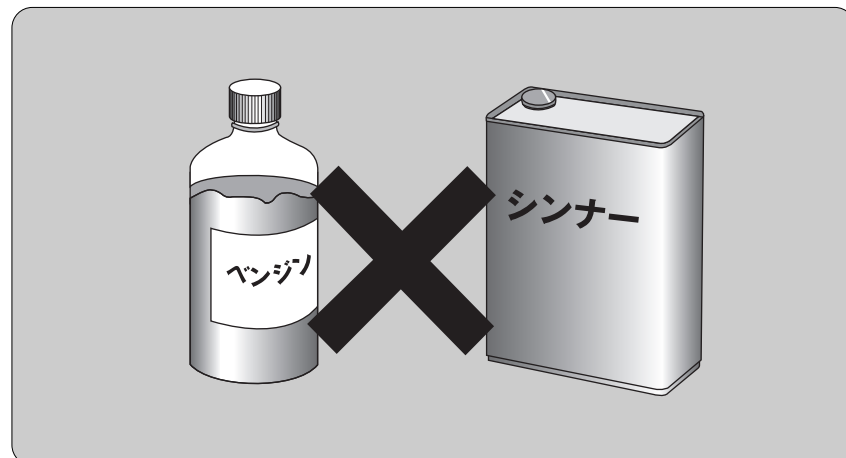
お手入れの前には必ず電源プラグを抜いてください。
抜かないと感電の原因になります。

ヒーターユニット

- **ヒーターユニットはクリーニングや水洗いできません。**
- **部分的な汚れは、うすめた中性洗剤に浸した布を固く絞って、根気よくふきとってください。**
- **裏面の汚れは乾いた布でふきとってください。ゆかピタ加工をしてあるので強くこすらないでください。**

コントローラと電源コード

- **台所用中性洗剤をぬるま湯に溶かしてタオル等を浸して絞り、汚れをふきとってください。**

※シンナー、スプレー、ベンジン、石油などの有機溶剤は使わないでください。

カバー(何かをこぼした時)

- **ティッシュペーパーか乾いた布で、できるだけ早く汚れをふき取ってください。**
(ケチャップ、マヨネーズなどの汚れはぬれた布でふき取り、乾いてしまった時は、水でぬらしてから乾いた布でふき取る)
- **布をうすめた中性洗剤に浸して固く絞りシミを広げないようにふき取ってください。**
- **ティッシュペーパーで残っている水気をできるだけ除去しブラシなどで毛並をそろえてください。**

※シミを除去した部分は、乾燥するまで踏みつけないでください。

■品番DR5272・5372の場合〈汚れをはじく防汚処理(撥水加工)をしています〉

- ゴシゴシと強くこすらないでください。汚れが染み込む場合があります。また撥水効果も低下していきますので必ず乾いた布で軽く押さえて拭き取ってください。汚れや水が完全に取れない場合は、再度乾いた布で押さえるようにして拭き取ってください。
- 熱湯や高い所からこぼれ落ちた場合、水玉状にならない場合がありますが、すぐに乾いた布で軽く押さえて頂くと拭き取ることができます。
- カバーは繰り返し洗濯していくと、防汚性能は徐々に低下していきます。

■カバーの丸洗いのしかた

手順・方法については次のページをご覧ください。

- **汚れによっては、手洗いや洗たく機洗いで取れないことがありますので、必要に応じてクリーニング店にシミ抜きを指定して依頼ください。**
- **クリーニング店に出されるときはブラッシングによる「シャンプークリーニング方法」と指定してください。**

●カバーサイズ別、品番別丸洗い方法一覧

	2 畳 サ イ ズ		3 畳 サ イ ズ	
品　　番	DR5242	DR5272	DR5342	DR5372
手　洗　い	○	○	○	○
全自動洗たく機洗い	○ 容量6kg以上	○ 容量5kg以上	×	○ 容量7kg以上

(全自動洗たく機洗いが出来るカバーでもネットの種類・洗たく機機種により全自動洗たく機洗いができないものがあります。)

お手入れのしかた

日常のお手入れ

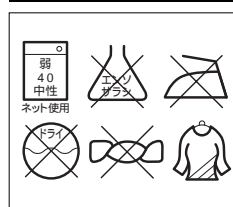
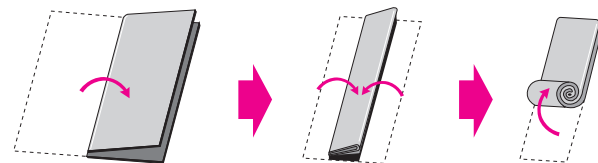
下記の手順・方法に従って行ってください。方法をあやまるとカバーをいためる原因となります。

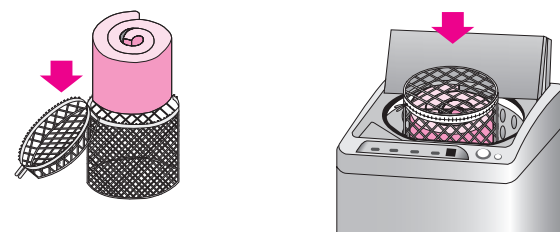
準　備 → **洗　い** → **乾　燥**

洗たく機洗い

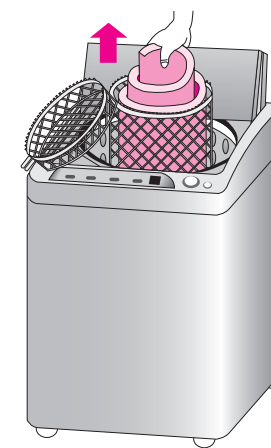
2畳用

2畳サイズ DR5242 DR5272
3畳サイズ DR5372

●カバー裏面の表示ラベルに従ってください。
●そうじ機で表面のほこりや、かみの毛を吸い取る。

1 裏面を内側にして折りたたむ。
始めに2つ折りにし、縫製部が内に入るよう3つ折りにして、きつく巻く
(縫製部を外側にすると、ほつれの原因となります)

2 必ず市販の底のある毛布洗い専用ネットに入れる。
(洗たく機へ入れる時カバーを傷つけるおそれがあります)

●洗剤は必ず洗たく用液体中性洗剤を使用。
●入浴剤の入ったお湯は使用しない。

3 大物コース・毛布洗いコースで洗う。
(静電気防止のため柔軟仕上剤を使用)

●すすぎは充分に行い、洗剤をよく落とす。

4 脱水後ネットを開け、中央部をかるくひっぱり出す。
(無理にひっぱるとカバーを傷つけるおそれあり)

●水分を吸って重たくなりますので持ち運びに注意してください。

手洗い

3畳用

3畳サイズ DR5342

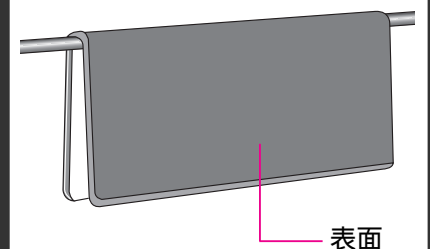
1 裏面を内側にして折りたたむ。
❶ ❷ ❸ ❹ ❺

2 浴槽等でかるく踏み洗い。

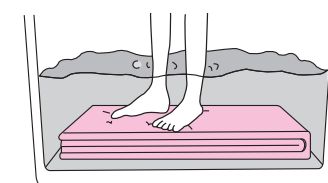
3 浴槽のふちなどにかけ、水をきる。
(手絞り禁止)

乾燥

【日陰の風通しのよい場所でつり干し】
●表面を外に2つに折り日陰の風通しのよい場所でつり干しして乾燥させてください。

○

●乾燥機は使用しない。
●裏面を直射日光にあててつり干ししない。

(乾燥機を使用した時及び裏面を直射日光にあててつり干しすると裏面が劣化し、白い粉が出てくるおそれがある。)

×

◆故障かなと思ったときに

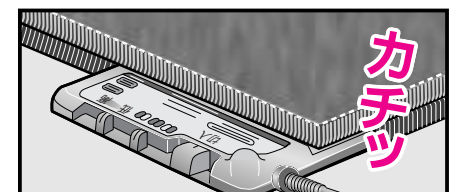
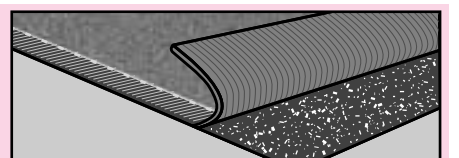
■ひとセンサを『ON』にして使用したとき

特に下記のことをチェックしてください。

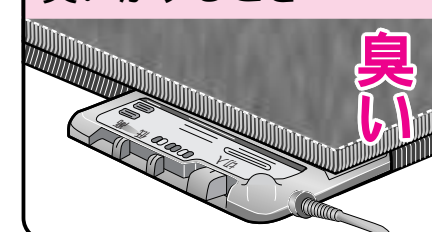
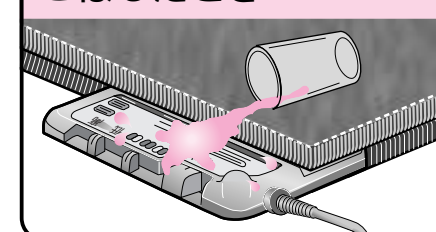
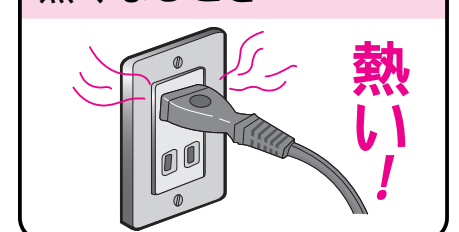
このようなとき	チェックしてください	直しかた
ホットカーペ上に人がいるのに暖かくならない ぬるい ときどき暖かくならない	ホットカーペ上で寝込んだり静止していませんか。	人の動きがない為、不在と判断しています。手や足などを少し動かしてください。P8参照
	座っている場所とひとセンサとの間に、こたつやクッション等の障害物がありませんか。	障害物により、センサが人の動きを検知できず、不在と判断しています。センサとの間にある障害物を取り除いてください。または、ひとセンサスイッチを「切」にしてお使いください。P8参照
	ひとセンサのレンズに汚れが付着していませんか。	乾いた綿棒で汚れを取り除いてください。
	カバーが温度コントローラ部に乗り上がっていませんか。	センサが人の動きを探知できず、不在と判断しています。カバーは温度コントローラ部に乗り上げないように同梱のカバーずれ防止テープで留め直してください。
	しばらくの間、ホットカーペ上から離れていませんでしたか。	人の動きが一定時間なくなると、不在と判断して自動的にホットカーペの温度を下げたり、切ったりしています。人を検知すると、元の設定温度に復帰させるようにしていますのでしばらくお待ちください。P8参照
	ひとセンサ部にカバーやクッション等をかぶせていませんか。	ひとセンサ部をカバー等でおおうと、センサが人の動きを検知できません。ひとセンサ部はカバー等でおおわないでください。P8参照
ホットカーペ上に人がいないのに検知している	ホットカーペ上にいなくてもその周りやひとセンサと対向する位置を歩行していませんか。	センサの特性上、ホットカーペの外側でも、人の動きを検知してしまう場合があります。長時間使用しない場合は、電源スイッチを切ってください。
	検知範囲内や、ひとセンサと対向する場所に熱源がありませんか。〈例〉 ひとセンサに太陽光が照射 犬や猫などの動物 石油ファンヒーターの焼煙炎 石油ストーブの焼煙炎	ひとセンサは温度の変化分を検知しています。できる限り誤動作源となる物は移動させてください。または、ひとセンサスイッチを「切」にしてお使いください。P8参照

■ひとセンサの『ON』『OFF』に関係なく次の様な事が起こる場合は

このようなとき	チェックしてください	直しかた
暖かくならない ときどき暖かくならない	電源スイッチが点滅していませんか。	自動切タイマーが動作しています。電源スイッチを一度「切」にし再度「入」にしてください。P9参照
	電気こたつの温度調節を「強」にして併用していませんか。	電気こたつの温度調節を「中」～「弱」にしてください。
	温度コントローラ部をカバーでおおいすぎていませんか。また、座布団等がのっていませんか。	温度コントローラの快温センサー部はカバー等でおおわないでください。P5参照
	温度コントローラ部にファンヒーターの温風が当たっていませんか。	ファンヒーターの風が温度コントローラに当たらないようにファンヒーターを移動してください。P5参照
	座布団や掛け毛布・ぶ厚いカバーなど、保温性のよいものをカーペットの上にのせていませんか。	座布団など保温性のよいものは、電気カーペットの上にはのせないでください。P5参照
	適温セーブスイッチを「ON」にして使用していませんか。	適温セーブスイッチを切って使用してください。P5参照
温度が高い	温度調節レバーが「高」またはダニ退治の目盛りになっていませんか。	温度調節レバーを「低」のほうに合わす。

ご注意
●ご使用中に、温度コントローラ部から「カチッ」という音がしますが、これは温度調節機構の音で故障ではありません。
●温度コントローラ部が少し熱くなりますが、異常ではありません。

お願い ●ホットカーペカバーの裏面から白い粉が、でるような状態になったら使用をやめて、別売カバーをお買い上げの上お取替えください。

■お買い上げの販売店にご相談を

通電中に異常な音や臭いがするとき

臭い

操作部に水などをこぼしたとき

電源プラグが異常に熱くなるとき

◆ 保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より１年間です。

補修用性能部品の保有期間

当社はこのホットカーペの補修用性能部品を製造打切り後、６年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書のＰ１９～２０に従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグをぬいてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

〈持込修理対象品の場合〉
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。
〈出張修理対象品の場合〉
お買上げ販売店まで品名、品番、お買上げ日、故障の状況（出来るだけ具体的に）ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規程に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口（取扱説明書裏面参照）にお問い合わせください。

長年ご愛用の電気暖房器の点検を！ ―― 半年に１度は次の点を点検してください。――

愛情点検

ご使用の際このような症状はありませんか

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- プラグ、コード、本体、コントローラなどが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- 温度調節レバーを「低」にしても異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

▶ このような症状のときは、故障・事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。（ご自分では絶対に分解しないでください。）

◆ 仕　様

ヒーターユニット温度コントローラ		
	2畳用	3畳用
種　　類	分離形（本体とカバーの分離形）	分離形（本体とカバーの分離形）
定格電圧	ＡＣ100Ｖ（50-60HZ）	ＡＣ100Ｖ（50-60HZ）
定格消費電力	片面255Wまたは両面510W	片面350Wまたは両面700W
外形寸法	176cm×176cm	176cm×260cm
表面材の材質	ポリエステル100%	ポリエステル100%
電源コード	1.55m	1.55m
製品質量（重量）	5.1kg	7.5kg

	品　番	温度調節目　盛	表　面　温　度	標準消費電力量（１時間あたり）
2畳用	DR5242 DR5272	中	約40℃	約220Wh
2畳用	DR5242 DR5272	高	約45℃	約280Wh
3畳用	DR5342 DR5372	中	約40℃	約320Wh
3畳用	DR5342 DR5372	高	約45℃	約400Wh

表面温度および標準消費電力量は日本電機工業会の測定方法に基づいて測定した値です。
実際に使用されるときは、室温・床など部屋の構造や使用状態により多少異なります。
●表　面　温　度……室温20°Cで畳の上に広げた状態で測定。
●標準消費電力量……室温15°Cの畳の上に広げた状態でひとセンサを動作させずに５時間通電したときの平均値。